

ふくおかのふくし

No.

132

2012年3月

ここにしかない味

シリーズ あなたのまちのまごころ
「弁当&レストラン そよかせ」のオムライス
(本誌7頁掲載)

今月号の内容

- 特集 求められる地域のつながり・支援とは…………… P 1
～男性介護者の現状と支援の現場から～
- 平成23年度いきいきサロンで元気な地域づくりセミナー開催………… P 3
元気な地域づくりをめざして ～地域を支える人の和～
- 福岡県共同募金会 広がる「ささえあいの気持ち」…………… P 5
 - ・平成23年度実績報告
 - ・赤い羽根自販機 協力者・設置者の想い
- シリーズ あなたのまちのまごころ…………… P 7
弁当&レストラン「そよかせ」(障害者就労・自立支援センターたんぼぼ)

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

この広報誌は、一部共同募金の
配分金を受けて発行しています。



求められる地域のつながり・支援とは

男性介護者の現状と支援の現場から

家族形態の多様化や高齢世帯の増加などから、夫や息子が家族を介護するケースが増えています。男性は悩みを一人で抱え込む傾向が強いとされ、虐待等の事例も少なくありません。本特集では、地域で孤立する男性介護者の現状を踏まえ、男性介護者に対する周囲の理解の必要性について考えます。

「男性介護者」の苦悩

昨年の厚労省の国民生活基礎調査によると、同居する家族を介護する男性の数は120万人に達し、平成16年に約25%だった男性介護者の割合は、約31%まで上昇して、今や3人に1人が男性介護者となっています。さらに、その約87%は50歳以上という状況です。

男性介護者の多くは、「家族の介護は他人に迷惑をかけられない」との思いから、「不慣れな炊事・洗濯が苦手」「女性用下着を買うのが恥ずかしい」など、男性ならではの「悩み」や「弱音」を抱えています。しかし、友人、会社の同僚など周囲に簡単に打ち明けられず、孤立を深め、ひとりでストレスを抱えている状況

にあります。

そのため、虐待、心中（未遂）に発展するケースも見受けられます。

厚労省の調査報告（平成22年度）によると、介護者による高齢者虐待において、虐待を受けた又は受けたと思われると判断された事例は、約16,700件で、その加害者の割合は、「息子」が約43%で最も多く、次いで「夫」が約17%という結果でした。

また、働いている男性介護者は、介護を仕事の延長ととらえる傾向があり、仕事も介護（家事）も完璧にこなそうとしますが、両立が困難になり、共倒れになるケースも少なくありません。

男性介護者の負担を軽減し、男性介護者の事故や事件をなくすために

も、地域社会の中に「気軽に相談できる場」、「同じ境遇にある仲間と語り合える場」をつくる必要があります。

男性介護者の特徴

- ① 弱音（胸の内の悩み）を吐き出すことが苦手
- ② 地域住民とのつながりが希薄
- ③ 家事労働に強い負担感を抱く
- ④ 仕事と介護との両立が困難な状況にある
（仕事をしている場合）

共に支え合う場

男性介護者が気軽に悩みを打ち明け、精神的な負担を少しでも軽減できるような支援のネットワークが広がっています。

認知症の人と家族の会福岡県支部では、認知症の妻や両親などを介護されている男性介護者を対象に、「男性介護者のつどい」を開催しています。



自分だけじゃない・・・ 男は「弱音」を吐こう

このつどいは、認知症の人と家族

の会の世話人である岡村敏治さんが、6年前に会員の方から「男性介護者が気軽に相談し合える場を作ってくれないか」との要請を受けて以来、年に3回開催しています。「男性介護者の多くは介護の悩みを素直に打ち明けられません。それならば、同じ境遇にある仲間が集まり、語り合うことで、お互いに支え合おうという想いで始めました。私自身も、実の母親を自宅で介護し、看取った経験から、少しでも参加者の力になれば。」と岡村さんは話します。

「妻が夜なかなか寝付いてくれないので、就寝時間はいつも夜中の2時、3時。睡眠不足が続いています。」「母がデイサービスを嫌がり行ってくれないので、自分の自由な時間がとれない。」などの悩みについて、参加者同士が、自らの経験に基づき助言

をします。

つどいでは、自分の苦悩を話すことで、気分が楽になったり、経験に基づいたアドバイスで救われたりする方が多くいます。認知症の両親を自宅で介護されている男性は、「両親が認知症と分かり、自宅で介護を始めた当初は生き地獄のようでしたが、つどいに参加して、色んな解決策が見つかり、気持ち少し楽になりました。」と話され、認知症の妻を介護している男性は「完璧な介護はない。『何もかも完璧にこなすのはやめよう』という気持ちを持つようになってから、自分の健康と時間を大切にでき、妻の介護とうまく向き合うことができています。」と笑顔で話していました。

また、「歌が好きな妻のために、定期的に近所の福祉施設で行われるカラオケに行っています。昔の歌を思い出し歌っている妻は楽しそうです。地域に出

て、色んな方とふれあうことができ、妻も私も気分転換ができました。」という声が聞かれ、「地域の中で、同じ境遇にある人とふれあえる場があれば助かる」という要望も挙がりました。

岡村さんは、「地域に目を向けると、頑張っている男性介護者はたくさんいます。最近では『料理や洗濯が上手になりました。』と言う男性も多くいます。しかし、介護が理由で正規雇用からパート雇用になったり、退職を余儀なくされたりと課題は多く、仕事と介護の両立の大変さ、男性介護者が抱える特有の悩みについて、多くの方々の理解が得られればと思います。また、男性介護者は独りで完璧な介護は無理だということを理解したうえで、力を抜き、気持ちにゆとりを持つてもらいたい。」と助言されました。



認知症の人と家族の会
福岡県支部
世話人 岡村 敏治 氏

認知症の人と家族の会 福岡県支部について

- 住所 〒810-0062 福岡市中央区荒戸3丁目3-39 福岡市市民福祉プラザ団体連絡室
(火・木・金10時30分～15時30分第三火曜を除く)
- 電話番号・ファックス 092-771-8595

認知症電話相談（高齢者総合相談事業）についてのご案内

認知症予防に関する質問、認知症の症状、介護の仕方等に関する相談、家族介護における心構えや具体的な接し方、介護疲れや悩みの相談などお気軽にご相談ください。

- 問合せ先 福岡県社会福祉協議会 TEL 092-584-3317
- 担当相談員 介護経験者（認知症の人と家族の会福岡県支部）
相談日 火曜日、金曜日 相談時間 10:00～16:00
- 担当相談員 保健師（福岡県在宅保健師若草会）
相談日 木曜日、土曜日 相談時間 10:00～16:00

元気な地域づくりをめざして

地域を支える人の和

縁でつながる地域の輪

龍谷大学社会学部地域福祉学科教授

筒井 のり子 氏

講師に、龍谷大学社会学部地域福祉学科教授の筒井 のり子 氏を迎え、「縁でつながる地域の輪」と題し、講師自身が中央共同募金会の支援プロジェクト会議のメンバーとして、福島県災害ボランティアセンターにおける被災地支援に携わった経験を踏まえ、様々な団体や組織、個人が協働した新たな地域活

動やつながり、絆づくり、縁づくりの必要性について講演いただきました。

講演で筒井氏は、「被災地で活動する生活支援相談員は、仮設住宅等の入居者の生活を支援する『個別支援』に加えて、近隣住民、民生委員、ボランティアやNPO等と協力しながら入居者同士、また、近隣住民とのコミュニケーションづくりなど、生活復興に向けた『地域支援』を行う役割を担っています。その中で、被災住民の孤立死防止やつながりづくりのために、仮設住宅の集会所等を利用した『ふれあいサロン活動』を行っていますが、現地では、サロン活動経験者の存在が重要になるという報告が挙がっています。社協等の関係団体を巻き込んだサロン活動や、地縁を活用した住民主体のサロン活動が展開でき、相談員自身も学ぶ機会を得たとの声を多く聞きました。皆さんが日頃活動されているサロン活動など、平常時に、どれだけ周りの『つながり』を持っていたか、小地域での福祉活動、ボランティア活動が活発だったかということ、緊急時には重要になります。」と話され、改めて、地域福祉活動のあり方を考える機会となりました。

平成23年度いきいきサロンで 元気な地域づくりセミナー開催



福岡県社協では、サロンなどの地域に根差した活動に携わる人や地域住民、関係機関が、地域のつながり・絆や縁の大切さを一緒に考え、官民一体となった元気な地域づくりを進めることを目的に「平成23年度いきいきサロンで元気な地域づくりセミナー」を去る3月5日に福岡市の福岡国際会議場で開催しました。今回で6回目を迎えるこのセミナーは、県内外66市区町村から社協役職員やサロン関係者、民生委員、福祉員などおよそ1300名が参加し、熱心に受講されました。



龍谷大学社会学部地域福祉学科
教授 筒井 のり子 氏

笑顔を届ける レクリエーション実演

セミナーでは、福岡県レクリエーション協会が、東日本大震災後、福島県鮫川村の施設や集会所などの避難所で実践されたレクリエーションを実演しました。

佐藤 靖典 福岡県レクリエーション協会 専務理事は、「仮設住宅に入居されている方々が私達のレクリエーションに参加され、少しの間でも笑顔になっていただいたことに安心しました。元気な子たちの笑顔にもたくさん出会えることができました。人と人を繋ぎ、心豊かにするレクリエーションができるように努力してまいります」と笑顔で話されました。



福岡県レクリエーション協会
専務理事 佐藤 靖典 氏（中央）

実践報告

「いきいきサロンで元気高齢者セミナー」で行った実践報告会では、地域の自治会や校区社協で地域福祉活動を実践している方々に報告いただきました。報告いただいた中には、住民が主体となって元気な地域づくりのためのヒントが見出せます。

災害に強い地域づくり

福岡市西区 野方団地自治会



野方団地自治会
会長 熊谷 高信 氏

野方団地自治会では、240世帯のうち一人暮らし高齢者世帯が40世帯あるため、災害が起こった時に備え、避難先を指定するとともに高齢者や要援護者の方の避難誘導がスムーズにできるよう、日頃から生活支援活動や防犯パトロール隊を組織してネットワークづくりに取り組んでいます。また、児童下校時の立ち番や、校区の小学生との餅つき大会、そばづくり体験など、子供たちとのふれあいの場を設けています。熊谷高信会長は「敬老会では小学生の出し物披露などがあり、大変喜ばれています。子供たちも、地域のひととのふれあいを楽しんでいます。子供と高齢者が協力して

成り立っている自治会です。」と報告されました。

地域住民が互いに助け合う 「生活支援事業」

久留米市 青峰校区社会福祉協議会



青峰校区社会福祉協議会
会長 内野 壽雄 氏

青峰校区では、高齢者や障害者の方々の日常的な困りごとに対し校区社協で養成した校区内の協会員が訪問しサービスを提供する生活支援事業を行っています。内野壽雄会長は「多様化する要望への対応や協会員の高齢化、確保などの課題はありますが、誰もが安心して住み続けられるように、住民と関係機関が協力した地域の基盤づくりのために今後も努力してまいります。」と力強く報告いただきました。

サロンで元気な地域づくり

大分県 中津市社会福祉協議会



中津市社会福祉協議会
吉田 瑞穂 氏

中津市社協ではサロン活動の充実を図ること、地域住民同士の絆を深めていくこと、高齢者の認知症予防等の健康づくりに役立てるためにコミュニケーションセッション麻雀を市内全域に普及しています。また、地域のつながりづくりだけでなく、男性の社会参加促進のひとつの方法として活用しています。「孤立感を持っているが、社会参加が苦手な男性にとって、麻雀は社会参加のきっかけとして大変良い効果がでています。ふれあいの輪も自然と広がります。」と報告されました。

広がる「やさえあいの気持ち」

平成23年度実績報告

あたたかい気持ちありがとうございました

10月1日から3ヵ月間実施した赤い羽根共同募金運動と、12月1日から1ヵ月間実施した歳末たすけあい運動では、経済状況が厳しい中、県民の皆様からたくさんの方々の貴重な浄財をお寄せいただきました。

県民の皆様にあたたかいご協力に心から感謝申し上げます。

多くの募金ボランティアや関係者の方々の、自分たちのまちをより良くしようという強い気持ちと大きな支援を得て取り組んだ平成23年度の共同募金運動は、福岡県全体では対前年度比100.1%と、平成11年度以来12年ぶりに前年度実績を上回ることができました。



「笑顔咲け！」羽根にたくしたこの思い …赤い羽根共同募金会

平成23年度実績
793,448,130円

(内 訳)

一般募金

665,569,520円

歳末たすけあい募金

127,878,610円



身近な福祉活動を支援する共同募金の役割は年々重要になっており、お寄せいただいた募金は、「無縁社会」「買い物難民」「子育て支援」などの地域の課題解決のための活動や、児童養護施設等の中・高校卒業生に対する進学準備等のための支援金、災害時のボランティア活動の支援など幅広く活用しています。

あなたの町の「身近なやさえあい」赤い羽根自販機



福岡県共同募金会では、飲料会社と協力し、飲み物を購入すると、その売上の一部が赤い羽根共同募金に寄付される自動販売機募金「赤い羽根自販機」の設置を推進しています。

「赤い羽根自販機」は、設置者に面倒な手間は一切なく、節電・節約もでき、設置者、購入者、地域社会に、いろいろなメリットがある社会貢献型の自動販売機です。

新規の設置だけでなく、既存の自販機の変更、設置先の紹介などにご協力をお願いします。

◆自動販売機の仕組み

設置者：①販売業者から、手数料として売上の13%～20%程度が、毎月支払われます。

②電気代は、1月あたり平均で2,000円～3,000円程度。古い自動販売機から入れ替えるだけで、大幅な節電・節約につながります

③費用をかけず、地域社会への貢献ができます。(設置企業のイメージアップが図れます)

④購入者が、募金付きの自販機を選ぶことで、設置自販機の売上向上が見込めます。

購入者：購入するだけで手軽に募金に協力でき、身近な地域の福祉活動に貢献できます。

地域社会：売上の一部が赤い羽根共同募金に寄付されるため、地域福祉推進の財源が増えます。

◆赤い羽根自販機協力企業

	伊藤園	サッポロ飲料	ハートフル福祉募金	アサヒみどり販売	ペプシコーラ販売
寄付金	設置者	—	※1	売上の3%	—
	販売業者	売上の5%	6円/1本	2円/1本	売上の5%
	購入者	—	—	募金ボタンで募金可能	—
設置者への収入	売上の20%	売上の20%程度	売上の13%	売上の20%	売上の20%
取扱い商品	伊藤園	サッポロ飲料	アサヒ飲料 大塚パレレジ キリンビバレッジ 他	アサヒカルピスまたは、大塚製薬	ペプシコーラ、サントリー

※1：設置者と販売業者で寄付の割合を決めます

詳しくは、福岡県共同募金会にお尋ねください (Tel 092-584-3388)

広がる「ささえあいの気持ち」

～赤い羽根自販機 協力業者・設置者の想い～



本誌では、赤い羽根自販機協力業者と設置者の取材を通じて、県内に広がる新しい社会貢献の形を紹介します。

株式会社 伊藤園 九州営業推進部部長 加藤 勝 氏

Q1 企業としての社会貢献について教えてください。

私たちは、「お客様第一主義」という経営理念のもと、原料の安全性（地産地消）、社会的責任（CSR ※）を強化し、購入者の方や地域社会の期待にお応えできる企業を目指しています。

赤い羽根自販機は、購入することで、売り上げの一部が募金され、地域の福祉に役立てられますし、設置した企業等の社会貢献にもつながるという、大変有意義な自販機だと思います。

私たちも CSR の一環として、赤い羽根自販機の設置を通じ、『身近な社会貢献』にご協力させていただける事にとってもやりがいを感じています。



Q2 赤い羽根自販機を設置した企業等の反応を教えてください。

設置した企業からは「職員の福祉意識の向上にもつながった」など、大変好評を得ています。また、赤い羽根共同募金は知名度だけでなく、歴史に裏付けられた信頼があるため、これから社会貢献をしたいと考えている企業からも、ご相談を受けるようになりました。

Q3 今後の展望を教えてください。

「赤い羽根自販機」という社会貢献の輪が県内に広がってほしいと思います。私たちはこれからも、自販機設置を通じて、「ささえあい」の気持ちを応援してまいります。

※CSR（Corporate Social Responsibility）：企業の社会的責任

企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもち、あらゆるステークホルダー（利害関係者：消費者等、及び社会全体）からの要求に対して適切な意思決定をすることを指す。

社会福祉法人 那珂川福祉会 ねむのき 理事長・施設長 秋田 裕子 氏

Q1 赤い羽根自販機の設置の経緯を聞かせてください。

赤い羽根自販機の話聞いたときは、「とにかく、おもしろい！」と思いました。誰でも気軽に社会貢献ができるところに魅力を感じ、設置に協力させていただいています。

Q2 赤い羽根自販機設置後の周囲の反応はどうか？

ねむのきの職員、また利用者の方たちは、同じ値段の商品を購入するのでも、社会貢献ができる赤い羽根自動販売機を選んでいるようです。飲み物を選びながら、楽しんで募金をしています。

Q3 設置に際して何か不安なことはありましたか？

自販機の管理や商品の補充に加え、空き容器の回収、釣銭の管理など、必要なことは、全て業者が行ってくれるので、特に不安はありませんでした。

自販機は無償貸与ですし、設置に係る費用も無料なので、費用をかけず社会貢献できるのも魅力のひとつですね。



特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）ねむのき 紹介



清流と林に囲まれた豊かな自然環境の中で、「自分達が受けた、親に受けてもらいたい介護サービス」をモットーにしています。2月に新たに地域密着型デイサービス「ねむのき青春塾」が誕生しました。懐かしい昭和の時代の教室と居間を再現し、青春時代の希望と元気を取り戻していただけるよう、回想法と学習療法を行っています。介護の必要な方ばかりではなく、地域の皆さんも、気軽に遊びに来ていただきたいです。

福岡県筑紫郡那珂川町下梶原2丁目6-3 TEL：092-952-1122

シリーズあなたのまちのまごころ

障害者就労・自立支援センター たんぽぽ（大牟田市）

安心・安全・まごころ料理

弁当&レストラン

そよかぜ

誰もが安心してその人らしく暮らしていきける社会を目指して平成19年1月に開所した「障害者就労・自立支援センター たんぽぽ」。そのセンター内に「まごころ料理を届ける『弁当&レストランそよかぜ』」があります。

そよかぜでは、冷凍加工食品を一切使わず、仕入れた素材を新鮮なうちに調理し、素材本来の味を活かした手づくりのメニューを豊富に取り揃えています。

栄養満点の「そよかぜ弁当」は、地域の方から「毎日食べてもあきず、体に優しい」と人気のお弁当です。多い時には、一日400食作ることもあり、朝7時からスタッフが調理をはじめ、出来上がりを冷めないうちに、配達しています。

「地域の方の口コミでお弁当を注文される方が増えています。ひとり暮らしの高齢者の方の注文も多いので、配達に行くことで、地域内での見守りにも一役買っています。」と話されるのは、責任者の沖中久美子さん。離れて暮らす家族の方から「今日は元気でしたか?」「食べ残しはなかったですか?」といった電話をうけることもあり、「そよかぜ弁当」は家族のつながりも支えています。

また、最近では、小学校やイベント等での弁当注文も増え、スタッフは朝から大忙しです。

お昼になると、レストランにお客さんがやってきます。主菜を肉料理と魚料理から選べる常連のお客さんに人気の「日替わりランチ」をはじめ、ふわふわ卵の「オムライス」、自家製の「ジャンたれ」をかけて食べる「肉やさい炒めランチ」、一度食べたらずみつきになる「オリジナルカレーランチ」など、どれもおいしく、ボリューム満点です。また、ご飯も食べる方の健康を考え、栄養価の高い水で栽培した「ミネラル米」の白米と雑穀米から選ぶことができ、大変好評を得ています。

現在、そよかぜでは、22名の障害



厨房スタッフの木原茂さん（左）と井上茜さん（右）



栄養満点の「そよかぜ弁当」



▲ふわふわ卵とレストランこだわりのデミグラスソースの相性が抜群のオムライス（ミニサラダ・スープ付600円）

▶新鮮な玉ねぎをふんだんに使用したそよかぜ自家製の「生ドレッシング」。サラダはもちろん、色んな料理にも最適です。

「ジャンジャン食べて」が愛称の特性「ジャンたれ」。炒め物や肉料理との相性は抜群です。



のある方が働いています。お弁当の盛り付け、調理の補助などを担当する厨房スタッフに木原茂さんと井上茜さんがいます。「色んな仕事にチャレンジして、仲間と毎日楽しく仕事をしています。」と木原さん。将来の夢について井上さんは「自分のお店を持ちたいです。今は夢に向かって頑張っています。」と、お二人の笑顔はとても輝いています。

「私たちは何より、お客様への感謝の気持ちを大切にしています。これからも料理の味、コスト、サービスの面で評価していただけるよう、良い商品づくりにこだわり続けます。また障害がある方が、地元で誇りを持って働ける場であることを目指します。」と力強く話されました。

地域のみなさんとのつながりを大切に、今日も「そよかぜ」は感謝の気持ちをお届けします。

まごころ製品情報



障害者就労・自立支援センター たんぽぽ

障害者就労・自立支援センター たんぽぽは、誰もが安心してその人らしく暮らしていける社会を目指して、平成19年1月に「社会福祉法人キリスト者奉仕会」が開所しました。

今回紹介した「そよかぜ」は、就労継続支援事業A型および就労継続支援事業B型事業所としてオープンしました。

「働くことを希望する人が、誇りを持って働ける場であること」を理念とし、地域社会であたり前に自立した生活が送れるように、賃金（工賃）保障に力を注いでいます。

また、職業自立をめざし、一般就職を希望される方へ職業準備訓練や職場実習などを行う「就労移行支援事業」にも取り組んでいます。

お弁当の注文について

☎ 0944・51・8807

月曜～金曜日の昼食・夕食（土・日・祝日休み）

・昼食弁当 450円（みそ汁付 500円）

・夕食弁当 500円（みそ汁付 550円）

注文時間

昼食：当日の午前10：00まで／夕食：当日の午後3：00まで

各種イベント弁当・鉢盛注文もお受けいたします。

・行事、会議、イベント弁当承ります。※3日前までにご注文ください。

・500円～2,000円まで、各種取り揃えています。

・土、日、祝日でも合計金額10,000円以上であれば注文をお受けいたします。

・3,000円（3～4人前）から10,000円（5～6人前）の鉢盛も取り揃えております。

レストランについて

営業時間：12：00～14：00（土・日曜・祝日休み）

住所：大牟田市八本町100番9

座席：40名／駐車場：無料

☎ 0944・51・8807

主なランチメニュー

- ・日替わりランチ：600円（肉・魚料理から選べます）
- ・ハンバーグランチ：600円
- ・オリジナルカレーランチ：500円
- ・肉やさい炒めランチ：600円

※店内にて、「生ドレッシング」、「ジャンたれ」に加え、自家製の「漬物」等の販売も行っております



西鉄バス瓦町四つ角下車 徒歩3分

まごころ製品とは・・・

福岡県では、障害者施設で製造（栽培）される食品や縫製品など、障害者の皆さんがまごころを込めて作った製品や提供しているサービスを「まごころ製品」と呼んでいます。障害者の皆さんが、「自立」を目指し、それぞれのアイデアや工夫、作り手の個性を活かした製品づくりに一生懸命取り組んでいます。本誌では今後も「まごころ製品」を紹介してまいります。

障害者の働く場を応援 福岡県民共済生活協同組合様からご寄付をいただきました

福岡県社協は福岡県民共済生活協同組合様から600万円の多額のご寄付をいただきました。

同組合では、平成18年に組合創設20周年を記念し、社会貢献の一環として、福岡県社協に2,500万円の多額の寄付をいただきました。福岡県社協では、寄付者と協議のうえ、障害者の日中の生活の場であり、働く場である小規模共同作業所の通所利用促進や製品の販路拡大を図る活動用車両を作業所へ配分するとともに、子育てサロンの取り組みの充実を図るため、貸出用遊具を市区町村社協へ配分しました。

以来、毎年ご寄附をいただいております。今年いただいた寄付金は、福岡県民共済生活協同組合様のご意向により、障害者の働く場である小規模共同作業所の活動用車両購入のために活用され、県内6カ所の小規模共同作業所へ配分されます。

去る1月25日に行われた贈呈式では、山口 敬男福岡県民共済理事長から富安 節子県社協常務理事へ目録が贈呈されました。

山口理事長は、「生活に苦しい人が、いつでも加入できる生活に根差した保険をつくるため、これまでの努力の成果を県内の社会福祉向上に役立てていただきたい。」と語られました。

福岡県民共済生活協同組合様、本当にありがとうございました。



山口 敬男県民共済理事長(左) 富安 節子県社協常務理事(右)

被災地の力になりたい 遠賀高校の生徒「青米パン」の売上げを義援金として寄付

去る1月19日、福岡県立遠賀高等学校の生徒の皆さんが福岡県共同募金会を訪問し、東日本大震災の義援金の贈呈を行いました。

これは、生徒を中心にオリジナル商品の開発を行う「商品開発室」が、「全国高校生対抗 “ごはんDE笑顔プロジェクト選手権”」で、審査員特別賞を受賞した「青米パン」の販売を行い、その収益金を、被災地への義援金として寄付いただいたものです。

「青米パン」は、地域を活性化するために開発されました。地元未成熟米を原料に含み、ふっくらとした生地と、玄米のツブツブとした食感が楽しく、香ばしさもあり、とてもおいしいパンです。

遠賀高等学校では、このパンを地域の新たなブランドとして育てることで、地域の活性化を図っていくとともに、被災地への継続した支援を行っていくとのことです。

遠賀高校商品開発室のみなさん、本当にありがとうございました。



遠賀高校商品開発室の生徒のみなさん



商品開発室でデザインしたパッケージも印象的
(商品開発室 大田真理子さん作)

医薬品を社会に役立てたい 福岡県医薬品配置協会 県内高齢者福祉施設に医薬品寄付

医薬品の正しい取り扱いについて、広く国民に普及するため「薬と健康の週間」が昨年10月17日から23日まで実施されました。

本行事の一環として、(社)福岡県医薬品配置協会では、医薬品及び寄付金を社会に役立てたいという思いから、県内の養護老人ホームに目薬、キズ絆、貼り薬計500個の寄贈、及び(財)福岡県メディカルセンターへ20万円の寄付をされました。

1月13日に福岡県庁で行われた贈呈式では、上村 光昭 福岡県医薬品配置協会会長から贈呈を受けた山下 芳郎 福岡県保健医療介護部長が原 嘉伸 福岡県老人施設協議会会長と山岡 春夫福岡県メディカルセンター常務理事に目録を贈呈されました。

受贈者を代表して、原会長は「高齢者が日常使う機会の多い目薬や、貼り薬を寄贈いただき大変助かります。いただいた医薬品は有効に使わせていただきます。」とお礼の言葉を述べられました。



贈呈式で目録を受け取る原嘉伸県老協会長(左)

県民共済は営利を目的としていません。

ご加入者を第一に考えています。

“人と人との助けあう”それが県民共済の原点です。

人と人をつないでいくことで、小さな掛金でも

充実した保障を提供することができます。

ひとりでも多くの方が、豊かな生活をおくれること

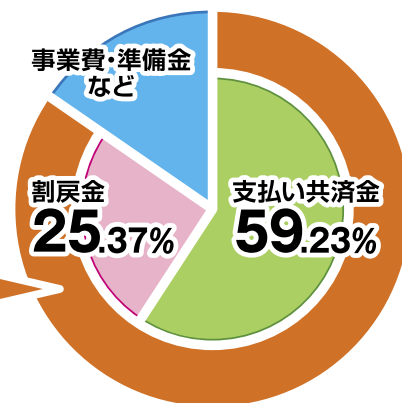
それがわたしたちの願いです。



掛金のご加入者のために使っています。

平成22年度は、掛金の約84%が共済金と割戻金にあてられました。これを還元率といい、お預かりした掛金がいかにご加入者のお役に立ったかを示すバロメーターとなっています。県民共済は、ムダを省いた低コスト経営を実践していくことで、これからも還元率の向上に努めてまいります。

平成22年度 県民共済グループ
すべての共済事業の合計



掛金還元率 **84.60%**

この部分をご加入者に還元されました。

皆の憩いの場

（囲碁・将棋（シニア）サークル）

今回は、春日市の「囲碁・将棋（シニア）サークル」を紹介します。

平成20年に、発足し、今年で4年目を迎えます。

世話役である広瀬久展さん（72歳）を中心に、57歳から95歳までの現在40名のメンバーで、毎月4回程度、春日市のクローバープラザで9時か

ら16時まで活動しています。

このサークルは、参加費は1回500円で、80歳以上は無料で参加できます。また、昨年までは、囲碁と将棋を違う曜日に分けて行っていました。今年から、メンバーが多めの仲間とコミュニケーションが取れるようにと、一緒に活動しています。

広瀬さんは、ボランティア活動も積極的に行っており、福岡市内の特別養護老人ホームを訪問し、利用者の方の将棋の対戦相手になっています。「囲碁と将棋は手先を使い頭も使うので脳の活性化になります。対局後の楽しい会話も認知症対策に繋がれば。」と笑顔で語ってくれました。



つながりを大切に

サークルの発足当時から参加している光安伸一さん（63歳）は退職後の趣味を探していたところ、サークルのチラシを見たことがきっかけで参加されました。

それから毎週参加して今では、広瀬さんと一緒に、ボランティアに参加するようにもなり、毎回楽しみに通っています。

最後に広瀬さんは「今の時代は、インターネットやゲームで対局ができませんが、やっぱり、囲碁と将棋は、相手の顔や性格を見ながら楽しんで対局するのがいい。このサークルが人と人との、つながりの場になって欲しい。」と語ってくれました。



「仲間に会うのが楽しみ」と語る光安さん



Q 必要のない商品の解約方法について教えてください

「新しく健康食品の店がオープンします。今日は無料で商品をお配りしますから、こちらの特設会場にぜひ来てください。」と販売員から無料引換券をもらったので出かけていきました。日用雑貨品などをもらった後、磁気マットレスの勧誘が始まり高額なので悩みましたが、無料でたくさんの商品进行もらい、気分も良かったこともあり、「体にいいかな・・・」と思い買ってしまった。

しかし、家に帰ってよく考えてみたら必要もなく、売り方もおかしいと思うので解約を考えています。何か良い方法はありますか。

A クーリング・オフによる解除法 ～催眠商法について～

今回の相談のケースは、いわゆる催眠商法として、特定商取引に関する法律（※1 特定商取引法）に基づいて、売買契約を解除できることがあります（※2 クーリング・オフ）。

催眠商法とは、最初にタダの商品を来た人に渡すなどして、その場の雰囲気が盛り上がったところで、業者が売ろうと思っていた商品を示して商品説明を行い、その商品を買わせる方法を言います。

今回のケースは、「特設会場」での商品の取引であり、「訪問販売」というと違和感があるかもしれませんが、普通のお店のように商品が棚に並んでいて、お客が自由に商品を選べる場所とは違い、今回のように無料商品を配るだけというような場所での取引は、法律上「訪問販売」となる可能性が高く、特定商取引法が適用されるものと考えられます。

また、今回のケースは無料商品を配ると言われただけで、磁気マットレスについて、何も説明されず、特設会場へ来るよう促されたのですから、いわゆるアポイントメント・セールスとして、この場合も「訪問販売」となり、特定商取引法が適用されることになるでしょう。

そして、売買契約の申込書や売買契約書を受け取ってから8日以内であれば（受け取った日を1日目として計算）、業者に対して、文書により契約解除の通知をすることで、商品自体に問題がなくても、無条件に契約を解除することができます。そもそも申込書や売買契約書を受け取っていなければ、8日経過後であっても解除できます。



※1 特定商取引法：消費者の利益を保護するための法律であり、訪問販売等の取引に適用されるもの

※2 クーリング・オフ：一定期間、説明不要で無条件で申込みの撤回または契約を解除できる法制度

法律相談のご案内

福岡県弁護士会の弁護士が金銭貸借、悪徳商法、遺産相続など法律にかかる相談を無料でお受けいたします。

- 相談場所 クローバープラザ 東棟4階（〒816-0804 春日市原町3丁目1-7）
- 相談日 毎週水曜日
- 相談時間 13:00～16:00（予約制）
- 問合せ先 福岡県社会福祉協議会 TEL 092-584-3344

～よりよい福祉サービスの提供を目指して～ 福祉サービス第三者評価事業のご案内

●福祉サービス第三者評価とは

福祉サービスを提供している事業者やそのサービスを利用している利用者以外の公正・中立な立場の第三者評価機関が提供されている福祉サービスについて評価を行う仕組みで、事業所の質の向上や利用者・家族の情報源となることを目的としています。

●対象となる福祉サービス

「福祉サービス」とは、次に掲げる事業及びサービスをいいます。

- ①社会福祉法に規定された社会福祉事業として提供されるすべての事業
(ただし、社会福祉法に規定された「福祉サービス利用援助事業」及び「連絡又は助成を行う事業及びその他の相談を行う事業」は除く)
- ②介護保険法で規定された居宅サービス及び施設サービスとして提供されるサービス
(「福岡県福祉サービス第三者評価機関認証実施要領」第3条 抜粋)

●受審効果は

- ①利用者の安全、権利擁護、職員の質の向上等健全な福祉経営の新たなヒントを得るきっかけとなります。
- ②自己評価や訪問調査等の第三者評価のプロセスを通して、職員の気づきの力、サービスの改善、課題の共有化が深まります。

第三者評価を受けて 社会福祉法人あさくら会 ひろにわ保育園（朝倉市）

平成22年に第三者評価を受審された「社会福祉法人あさくら会 ひろにわ保育所」の徳永 扶美子 園長に、第三者評価についてお話を伺いました。本誌では、第三者評価を受審された感想と受審後の取り組みについて紹介します。

Q1 第三者評価を受審されて

審査を通じて、自分たちの日頃の業務を見直すことができ、各種マニュアルの整備など、業務改善に取り組むきっかけとなりました。評価内容についても、これから取り組むべき課題も明確となり、当保育所では「当たり前の事」として取り組んできた、地域の方との交流や行事への参加を高く評価され、他の保育所にない長所に自信を持つこともできました。



Q2 受審後の職員の変化について

ひろにわ保育所では、保護者の方々に審査結果を公表しました。そのうえで、業務改善に向けての取り組み、また「よりよい施設にしていこう」という職員の意思の統一を図ることができました。

Q3 今後（平成25年以降）の受審について

私たちは審査結果を学ぶことで、施設（保育所）の成長に繋がたいと考えています。職員やサービスの質をより良くするためにも、今後も受審したいと思います。

○保育所における第三者評価基準の変更について（平成24年度から）

平成24年度から本県の保育所の第三者評価基準は、保育所保育指針に沿ったものに改定し、それぞれの保育所で取り組まれている自己評価や保育実践の振り返りをこれまで以上に尊重しながら、事業所の質の向上を支援していきます。

事業所の皆さん。よりよい福祉サービスの提供を目指して、積極的な受審をお願いします。

問合せ先 福岡県社協 TEL 092 (584) 3610

障害者福祉情報ハンドブック2012が完成しました

福岡県社協では、福岡県から委託を受け、障害者関係の制度・施策をとりまとめた「福岡県障害者福祉情報ハンドブック」を2年に1度発行しています。

〔掲載内容〕

- ★障害者福祉制度・施策を満載
- ★県内各市町村の障害者福祉関係事業等実施状況を網羅
- ★施設名簿、地域活動支援センター・共同作業所の活動内容 等

- 〔価格〕1,300円（税込）
A4判・400頁
- 〔送料〕10部まで320円
(九州内)

【申込・問合せ先】 福岡県社協 人材・情報課

TEL 092 (584) 3330 FAX 092 (584) 3319

- ①氏名・団体名（担当者名） ②送付先住所・TEL・FAX
- ③申込部数をご記入のうえ、郵送またはFAXでお申し込みください。



全国170万人加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

活動場所と自宅
との往復途上の
事故も補償

ボランティア活動
のための
学習会・会議など
での事故も補償

ボランティア自身の
食中毒・熱中症・
特定感染症もOK

天災タイプでは
地震・噴火・津波による
ケガもOK



年間
保険料

Aプラン … 280円

Bプラン … 420円

天災タイプもあります

*各プランの補償金額、補償内容
などの詳細は、専用のパンフレット
をご用意しておりますので、取扱
代理店にお問合せください。

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

● 行事参加者(主催者(個人)を含みます。)全員のケガを補償(往復途上も含みます。) ● 行事主催者の損害賠償責任も補償

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外サービスを含みます。)
- 障害福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 地域福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業 など



送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者を特定したプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したプラン

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一緒に契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル 17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763

(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社

赤い羽根 バッジデザイン 募集

募集期間 4月1日(日)～5月14日(月)



昨年は、**支えあう**ことの大切さを知った。
今年は、その想いを**赤い羽根**に託したい。

テーマ

共同募金運動のシンボルである**赤い羽根**を主体にして、西暦年「**12**」を入れた(デザイン等)、親しみやすいものとします。

応募要領

- ① 1人1点に限ります。
- ② 用紙の大きさは、はがきのサイズとします。
- ③ 金色(金属素地の色)以外に、**2色以内**で、直径3cm 前後。
【実物の1.5倍程度】ただし、小学生はデザインの大きさは自由です。

記入内容

- ① デザイン ② 氏名(ふりがな) ③ 年齢 ④ 性別 ⑤ 住所 ⑥ 電話番号
- ⑦ 学校名(学年)または職業を記入のうえ、応募ください。
- ※ 氏名には必ず**ふりがな**をつけてください。



平成23年度 最優秀作品

入選

- | | | |
|-------|-----|-----|
| 最優秀作： | 1点 | 5万円 |
| 優秀作： | 2点 | 3万円 |
| 佳作： | 10点 | 1万円 |

※中学生以下の入選者は図書券となります。

※最優秀作は共同募金オリジナルバッジなどのデザインに!!

キャッチフレーズも、あわせて募集中。詳しくは、「ふくふくネット」と検索!!

検索

社会福祉法人 福岡県共同募金会

後援 福岡県教育委員会・北九州市教育委員会・福岡市教育委員会

送付・問合せ先／福岡県共同募金会 〒816-0804 春日市原町3-1-7(クローバープラザ6階) TEL: (092) 584-3388